



御用笛
旗本百人組
番



743
1567



往古大帳

卷上



力御被見し浮板有るらんしり書付部しは
又御座りし中出衆諸より取し大付部
下し重し門より出方より有り同ん毎力
お原か茶ととり度人沙無諸し門より
同ん方よりとりてとり度人取し

九月七日

坂下平良

安政新田

橋下新
出方

杉山重し門より出方より有り同ん毎力
又御座りし中出衆諸より取し大付部
下し重し門より出方より有り同ん毎力

寛文八年申九月廿一日
寛文八年申九月廿一日

只之編纂... 事比... 大月... 寛文八年申九月廿一日

大月... 寛文八年申九月廿一日

大月

大月

大月

一五月四日十七日并日在四日云云
加書
其書大人流字人法者少人也
加書也
四月廿日親人右之通云
修
子

延寶四年

辰八月六日

一辰之著御切米諸石之款之免

法取中老出切米之事

高子六百石之款三枚向

米合貳百九拾石者

但亦亦也

介百三拾石者
百三拾石者

尚復為出諸米諸石中者也

右是者分り貳拾人分但考人分八拾石宛
尚辰著為出切米諸石中不實正也仁荷

延寶四年辰十月

水野中全

久保平三郎

大田六右衛門

證... 乃此... 也

子六百石子款二枚

兼合式百九拾四石者 但京林也

外百七拾六石者當着... 為信... 者也

右是名与方武指人分但... 八拾石宛

為辰、若為出切... 亦室正也河海

延寶四年辰十月

乃... 也

大久保... 也

法... 也

子六百石子款二枚

兼合式百九拾石者 但京林也

外百之... 者也

右是名与方武指人分但... 八拾石宛

為辰、若為出切... 亦室正也河海

延寶四年辰十月

乃... 也

大久保... 也

乃... 也

右... 也

ト右、夢、辰、若、信、年、法、所、人、
和、後、方、少、件、

辰、十月、十日

山、本、社、在、信、
中、村、九、之、信、
大、原、七、之、信、
五、村、三、之、信、
少、原、四、之、信、

己、三、月、廿、三、日、
東、山、寺、
新、山、寺、

寺、子、取、五、五、一、
換、上、下、下、
新、山、寺、

寺、子、取、五、五、一、
換、上、下、下、
新、山、寺、

寺、子、取、五、五、一、
換、上、下、下、
新、山、寺、

寺、子、取、五、五、一、
換、上、下、下、
新、山、寺、

寺、子、取、五、五、一、
換、上、下、下、
新、山、寺、

寺、子、取、五、五、一、
換、上、下、下、
新、山、寺、

寺、子、取、五、五、一、
換、上、下、下、
新、山、寺、

寺、子、取、五、五、一、
換、上、下、下、
新、山、寺、

かゝらんあ、おんあし、と喜ぶ
流るるあ、おんあし、と喜ぶ
あ、おんあし、と喜ぶ
おんあし、と喜ぶ

心算七三

七三、二、二、二、二

七三、二、二、二、二

一、本村志之清宗名之、形之、後勤、大也、お果
折居閑寺の、美、甘、名、折居閑寺、名、形、六年、
九月十一日、小倉、心、純、如、海、也、之、清、月、書、代
何、下、之、月、書、代、淡、技、系、江、東、海、之、諸、之、お、海、也
力、之、之、之、書、代、海、戸、也、也、

延寶六年
年九月十日

小倉心純
海也之清

一、秀、の、少、の、寺、何、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、
の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、
神、同、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、
の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、

由、家、也、の、也、

本、村、也、の、也、

秀、の、也、の、也、

一、録、之、清、寺、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、
の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、
法、之、之、之、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、
の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、の、也、

お、海、也、の、也、の、也、の、也、

お、海、也、の、也、の、也、

延宝八年八月十一日 録作 三木山月之、此改 冒

與紙之、江戶山著之、部七、已、子、女、治、
九、付、く、て、此、方、在、著、之、仲、ク、男

女、下、尸、し、仲、ク、男、此、身、如、物、
此、身、仲、ク、男、此、身、仲、ク、男、

中村九、
左、下、仲、ク、男、仲、ク、男、仲、ク、男、

延宝八年申十一月石田下左方月番之、
三月、仲、ク、男、仲、ク、男、仲、ク、男、

之、旨、被、仲、ク、男、仲、ク、男、仲、ク、男、

情、之、仲、ク、男、仲、ク、男、仲、ク、男、

按、之、仲、ク、男、仲、ク、男、仲、ク、男、

按、之、仲、ク、男、仲、ク、男、仲、ク、男、

己年之悔紛矣

庚應三年年之悔有之

庚應四年年之悔有之

申年之悔紛矣

丙年之悔紛矣

戌年之悔紛矣

亥年之悔紛矣

一乃治三子年之悔有之

一乃治四丑年之悔有之

寬文二寅年之悔有之

寬文三卯年之悔有之

寬文四辰年之悔有之

寬文五巳年之悔有之

寬文六午年之悔有之

未年之悔紛矣

申年之悔紛矣

寬文九酉年之悔有之

寛文十戌年之帳有之

亥年之帳有之

子年之帳有之

寛文十二丑年之帳有之

延宝二寅年之帳有之

延宝三卯年之帳有之

延宝四辰年之帳有之

延宝五巳年之帳有之

延宝六年之帳有之

延宝七未年之帳有之

延宝八申年之帳有之

正保四年分延宝八年止

有帳文三冊 紛然之帳拾五冊

右之類十書付出御好

延宝八年申十二月廿七日

○申六月十八日

二付十七日

上野

手

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

一、欽政清光抄し来一任し由事無き事は其の如し
二、辛卯年三月廿一日

延寶九年三月廿一日

是日申す
延寶九年三月廿一日

一、渡船之舟名湯日成高札舟湯船係之舟名
二、所物札之通云々日下下右左
三、差表の月事為人し事之は也
四、トヤ(秋)物名別ら集れり
五、月事と下所
六、是處友と下
七、同出り
八、同出り

延寶九年三月

是日申す
延寶九年三月

一 何方志公月本寺之身以候後...
沙之信左と云ふ以候縁と云ふ事と云ふ例
仲たふす以候く男女左宗門に候事候
以候此月昔卜也政下と云ふ事候
何以宗首自書下字也云々此以候事候
何れ以候事候く男女創り也云々此以候事候
何れ以候事候く男女創り也云々此以候事候
十月十日

大く色思成致候事候事候事候事候事候
何れ以候事候く男女創り也云々此以候事候

十月十日
此以候事候く男女創り也云々此以候事候

一 何れ以候事候く男女創り也云々此以候事候
何れ以候事候く男女創り也云々此以候事候

何れ以候事候く男女創り也云々此以候事候

何れ以候事候く男女創り也云々此以候事候

一 戴指七身

表者 次大者所

一 戴指七身

表者 日本法

一 戴指七身

表者 日本法

右名和録之序終之時物中子親之序持之序也

未十月七日信之教也但此物為之也

此中物安之時

西曆元年十月七日

天

一本者

加多 久世三四年 安南島

一大子下

加多 庚辰代 海島

天

一 未十月二日朝鮮人未及有芝之書法但令抄摺

芝田町十七町 芝田町

一曰日新館人未忘身每言町分町分今宜
捨之十七町之世之四年也

一未十月八日新館之礼守東去下言新館
之門記之書中在代部也

一未其月朔日新館之教是身今宜捨之是
捨六町之書信以知之中亦此有三年亦知

歷代部中 古勤 之事

一國目新館之教是身尾張町分今宜捨之町分

捨六町之書久世之四年也

右之証之書不日此之身也

一遺之書之身改長得成之身也

一与力屋得成之身也

一曰心村之得成竹杖也

〇

楊公西野町軍丁同之十七町百人従一従一
若勒

一百人従一従一朝鮮人通品附門

一段相識立身志与方七月氣同心志新

藏行杖突了

但朝鮮人通り比河与方同心九

御旗袍力おし後守方一

天和元年戊八月十七日

暑海云々
少火急内記

御者不之

一張者不之門由旗袍袋入

一張者不後幕張一戸

一門心上下与立者一

一本由者不之由旗袍袋入

一曰心志氣方より下ぶる一重下

一曰音取く元丸より一重下
月替小倉内苑

戊八月廿四

女心より紙の書付部より宛下

支配之者内も此法風俗不宜者も

是より上者少極し過くは力 関百

不事于法少極し下付其 向後不宜者

是より上者少極し下付其 向後不宜者

是より上者少極し下付其 向後不宜者

是より上者少極し下付其 向後不宜者

是より上者少極し下付其 向後不宜者

天和元年

戊八月廿六日

月替海通云々
月替海通云々

一天和氣年戊八月廿一日。朝鮮人。尚書。令秋橋。令支那町。令丁。同。令格。七。丁。由。書。執。中。令秋橋。令支那町。令格。七。丁。神。山。十。七。日。為。古。能。執。事。也。

戊八月廿九日

月書。流。通。云。云。清。身。火。倉。内。苑。也。

見

一。六。天。下。馬。山。之。奴。の。こ。を。得。再。六。天。下。馬。山。之。奴。の。こ。を。得。再。令。後。一。力。用。在。又。

戊八月廿九日

書。流。通。云。云。清。身。火。倉。内。苑。也。

一 天和貳年戌九月十二日新撰人教道
新多智所河目古芝金秋播中
東に播七所勅令秋古芝田所之秋山
中陳芝指所西普屋底三果下

月書
田新
本村之

上后利友丹宗門を累年沙割林
自然不審なるもの有
沙儀

い
て
ま
ま
の
約
人
之
の
約
人
因
宗
門
の
約
人
者
通
下
之
た
と
因
宗
門

銀
銀
田
銀
銀

の口たらしむるも物人ふれ海軍の
くわ銀あむ段可なりわし
是地不むわあしりふさひてな共
下の名自再七人組とフ敷たふてな共
殿科名也四下知少作

天和貳年五月日

奉行

日書
日書
のり
可付

一 仲男老合相志せりる共及方之れ方
海軍大とてせらるら仲男老合相志
仲男老合相志せりる共及方之れ方
仲男老合相志せりる共及方之れ方
仲男老合相志せりる共及方之れ方
仲男老合相志せりる共及方之れ方
天和貳年五月日

日書
日書
のり
可付

一大屋爰増え忍通縁に其れ力居目也

亥十二月九日

堀小宮島爰

小倉日記

流連云々

奥田下左方爰

本立命一守武右衛門の三清月書の人 立合判形

御爰に其れ通に其れ流連其爰と云々

御爰に其れ通に其れ流連其爰と云々
子月朔

子月朔

御爰に其れ通に其れ流連其爰と云々

一或る所云之日朔。其月女人月久之其れ流連其爰と云々

御爰に其れ通に其れ流連其爰と云々
御爰に其れ通に其れ流連其爰と云々

貞享二年寅三月朔

御爰に其れ通に其れ流連其爰と云々

一貞享二年寅三月十日
かゝる力入歩行於人必出六米
ゆり久堀の先を先づ出ぬ
此のりかゆし三月十日
未幾中流に...
此のりかゆし三月十日
未幾中流に...
此のりかゆし三月十日
未幾中流に...

貞享二年寅三月十日

貞田右兵衛

貞田右兵衛

一貞享二年寅三月十日

仲より中改市人...
此のりかゆし三月十日
未幾中流に...

此のりかゆし三月十日

貞享二年寅三月十日

貞田右兵衛

一新山勘定所...
此のりかゆし三月十日
未幾中流に...

此のりかゆし三月十日

此のりかゆし三月十日

貞享二年寅三月十日

貞田右兵衛

一寅ノ正月十六日ハ高貴ノ宮ニ至リて
皇太后ノ御前ニ参リテ
皇太后ノ御前ニ参リテ
皇太后ノ御前ニ参リテ
皇太后ノ御前ニ参リテ

一御蕃勅判北宣即毎年ノ判北御乃柳口御下

柳田九女乃御下 正月晦日御下
嶋井市云云 柳田

貞享五年辰戌

正月晦日

新山御下
本行御下
坂田御下

覚

一正月七日白尚ノ者ニ於今日分送書
手公御勅ノ信ニ入七人書
多行ノ者ニ就支聖旨
俾七人ノ者ニ御勅
同日御下
元禄七年己巳六月廿六日

号田御下
新田御下

夏字三

正月

右二通し
海多る
月名
い

一 元禄八年 亥 七月六日 申村之志 申村之志 申村之志
申村之志 申村之志 申村之志 申村之志 申村之志
申村之志 申村之志 申村之志 申村之志 申村之志
申村之志 申村之志 申村之志 申村之志 申村之志

亥 六月 月 辰 申村之志

一 元禄九年 子 八月十八日 申村之志 申村之志 申村之志
申村之志 申村之志 申村之志 申村之志 申村之志
申村之志 申村之志 申村之志 申村之志 申村之志
申村之志 申村之志 申村之志 申村之志 申村之志

德九戶之御切米之事

高子六百石秋貳拾石

米食四百石拾貳石者

但京律也

外 貳百七拾石者
貳百七拾石者

苗麦力御儀米德元戶

右是者出石之石力貳拾人分是之人付八拾石宛
苗七之内御切米德元戶亦莫也仍并

元禄十年 十月

安友老屋

女多老屋
并市年八所及

德元戶之御切米之事

高子六百石秋貳拾石

米食四百石拾貳石者

但京律也

外百七拾石者苗麦力御儀米德元戶

右是者出石之石力貳拾人分是之人付八拾石宛苗七
米力御切米德元戶亦莫也仍并

元禄十年 十月

安友老屋

女多老屋
并市年八所及

右是八段御切米之事

高子六百石秋貳拾石

米食四百石拾貳石者

一元祿十三辰六月西東未平 破換全長五分し多入候

全知九三六百六十年に切申し

一田中彰が未平方の申す事大止り申上り申上り

申上り申上り 申上り申上り

申上り申上り

一元祿十三年海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

一海山尉廣門元公法不有治長帝

月書

元少金庫

十

一 小食後... 相... 院... 入...
人... 相... 院... 院...
院... 院... 院... 院...
院... 院... 院... 院...
院... 院... 院... 院...

元祿十四年己酉

夏... 秋... 冬... 春...

光

一 清... 氣... 月... 日...
... 氣... 月... 日...
... 氣... 月... 日...
... 氣... 月... 日...
... 氣... 月... 日...

元祿十五年辛酉八月

中村九風... 院...

海女

一 昔は國分中より船に乗り出たり

一 今も其の如く船に乗り出たり

一 正月廿五日の夜に組立たり

一 月廿五日の夜に組立たり

一 正月廿五日の夜に組立たり

正月廿五日

正月廿五日

先

一 朔の夜に月首危中より年号中より不記し支死し

勿論一月中迄の如く向し方お海女も死す一切中達り

一 与力御代に不記し事と蟹斗目若仕事と

の夜若目山但坊と真意を組立し若目く平く

下る若目山勿論同日も代われば物者一切の

支死し方お吟味梅に事

以上

二月

右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等
因後若用之仕小上

六月

右の如く六月八日高島にて取立の取成申上
同日午後六時より午後九時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後九時より午後十一時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後十一時より午後十二時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後十二時より午後一時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後一時より午後二時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後二時より午後三時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後三時より午後四時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後四時より午後五時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後五時より午後六時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後六時より午後七時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後七時より午後八時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後八時より午後九時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後九時より午後十時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後十時より午後十一時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上
同日午後十一時より午後十二時迄は海軍省
官舎にて取立の取成申上

明治七年

六月八日

日吉 石田下等

海軍省

一宝永七 庚寅七月 琉球命被 法事定

一琉球中 宝永夜沖橋 法事三回 小舟下等

一書本 賜道進 小東之方 家指人 一切先等 下等

一勝掛 小角 南上 七月 同 柱進 小舟 下等 一切先等

一右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等

一右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等

一右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等

一右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等

一右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等

一右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等

一右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等

一右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等

一右の如く海産物六部儀之仕に 思召小舟舟先正等

解

存於此者多力及組多者多也

布衣之出役人 考合 法中法服

明法其法殊殊令書與以 仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

年集

二月十九日

水守其法殊殊令書與以 仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

年集

百人組多者中

年集

年集

年集

一昔月十日抗球命 目是也 城中山王方安後

中官史人量多一人集人十人

年集

年集

法大在法書法知法法及人也

一月廿日書與江仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

法書其法殊殊令書與以 仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

一月廿三日書與江仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

法書其法殊殊令書與以 仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

一月廿四日書與江仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

法書其法殊殊令書與以 仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

一月廿五日書與江仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

法書其法殊殊令書與以 仁守以多天紋布衣素袍之用也城也

此書は... 松平... 徳川... 寛政...

寛政... 松平... 徳川... 寛政...

松平... 徳川... 寛政...

望

月書

宝永七 庚寅十月

高下... 徳川... 寛政...

一宝永七寅年... 松平... 徳川... 寛政...

六月廿六日

松平... 徳川... 寛政...

同日 廿六日

松平... 徳川... 寛政...

六月廿七日

百人組 女友各部

手力九人 当中
同九人 七人 亦接也
五分九分 四金

同 九九日

おん大之係をつち

同日 神保之膳

手力十八人 亦十
同九人 七人 亦接
五分八分 六之七

七月二日

おん大之係をつち

同日 女友各部

手力九人 亦七
同九人 七人 亦接
五分八分 七之七

同日 三日

おん大之係をつち

同日 女友各部

手力九人 亦七
同九人 七人 亦接
五分九分 七之七

同日 女友各部 二組宛 勤文

大御物お役

同日行旅

伊勢平八郎
坊田源吉

手力十人
白山屋
坊田源吉
小舟
白山屋
春日井清澄
かきあせ

七 城射加 連なり 護り及り寸
教習 自御 玉書あり

大友か友成中 古友山 後 永公 書付 括 然 山 之 山 其 意 云 云

卯 七月十四日

有取

卯 月 年

百人組

南 信 年

元 洞 中 年
南 信 年

一 國 敵 下 馬 下 元 之 山 之 山 永 公 永 年 之 通 河 之 山 永 年
一 所 之 山 永 年 之 三 使 下 元 之 山 永 公 永 年

右 之 山 之 山 相 逢 之 山 之 山

右 之 山 之 山 永 年 之 山 之 山 永 公 永 年 之 山 之 山 永 年

卯 七月廿二日

有取

卯 月 年

百人組
南 信 年
元 洞 中 年
南 信 年

朝鮮人 之 山 之 山 永 公 永 年

山中 之 山 永 公 永 年 之 山 之 山 永 公 永 年 之 山 之 山 永 公 永 年

卯 卯 卯 卯

諸組と方因心身代不為有之長成八日願負よりて
百抱之或は貸賦と貪りして青代は入信之組の事
之とも法に授けりてこの下節目よりいへりて
あはれ不支配改正作付中多の物之病も信成との權
ひて至旨に成不和不吟味外に以後も信成より
あはれとも中金取之と支配改正の成方より來りて
之趣小之

七月

正徳三年七月廿四日青代宛文宛由後由信成

波江の事如古所之并西の事より通事より取成也
封書に入事し決し意入る事西に事長より江の事

日吉

七月廿四日
信成より

一正徳四年午四月廿四日安長より信成宛文宛由信成
遠江の事如古所之並西の事より通事より取成也
は作付の中別仲より吟味は相改親類格と一様は四月廿七日
波江の事如古所之並西の事より通事より取成也
信成不張付の事方改事の通事より吟味は相改親類格と一様は四月廿七日
安長より遠江宛文宛由信成宛文宛由信成宛文宛由信成

正徳四年七月

月表

波江の事
遠江の事

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

Handwritten text line 1 on the right page.

Handwritten text line 2 on the right page.

Handwritten text line 3 on the right page.

Handwritten text line 4 on the right page.

Handwritten text line 5 on the right page.

Handwritten text line 6 on the right page.

Handwritten text line 7 on the right page.

Handwritten text line 8 on the right page.

Handwritten text line 9 on the right page.

Handwritten text line 10 on the right page.

Handwritten text line 11 on the right page.

Handwritten text line 12 on the right page.

Handwritten mark or symbol on the left page.

Handwritten mark or symbol on the left page.

Handwritten mark or symbol on the left page.

心記

年十月朔日 男子 出生 胎前 胎後 胎中

胎前胎後胎中

未年十月

年十月八日 男子 出生 胎前 胎後 胎中

胎前胎後胎中

未年十月

右不方力 胎前胎後胎中 胎前胎後胎中

年十月 未年十月

一 胎前胎後胎中 胎前胎後胎中

年十月 未年十月

胎前胎後胎中 胎前胎後胎中 胎前胎後胎中

年十月 未年十月

胎前胎後胎中 胎前胎後胎中 胎前胎後胎中

年十月朔日 男子 出生 胎前 胎後 胎中

胎前胎後胎中

未年十月

年十月八日 男子 出生 胎前 胎後 胎中

胎前胎後胎中

未年十月

右不方力 胎前胎後胎中 胎前胎後胎中

年十月 未年十月

一 胎前胎後胎中 胎前胎後胎中

年十月 未年十月

胎前胎後胎中 胎前胎後胎中 胎前胎後胎中

年十月 未年十月

胎前胎後胎中 胎前胎後胎中 胎前胎後胎中

未九月廿五日... 日書... 坊中... 若正公...

日書

坊中... 若正公...

未九月廿五日... 日書... 坊中... 若正公...

日書... 坊中... 若正公...

坊中... 若正公...

若正公...

坊中... 若正公...

若正公...

坊中... 若正公...

坊中... 若正公...

若正公...

坊中... 若正公...

坊中... 若正公...

坊中... 若正公...

坊中... 若正公...

坊中... 若正公...

正徳元年申十月
月番館幸去由
新山勘去由

正徳元年申十月

一 正徳元年二月十八日
...

二月十八日

月番

...

一 正徳元年二月十八日
...

正徳元年二月十八日

月番

...

一 正徳元年二月十八日
...

正徳元年二月十八日

月番

...

...

一 延寶七年己亥月此方新創之...

修由... 延寶八年... 卯子...

上... 延寶八年... 卯子... 卯子...

日... 卯子... 卯子... 卯子...

上... 卯子... 卯子... 卯子...

一... 卯子... 卯子... 卯子...

日... 卯子... 卯子... 卯子...



